

令和6年12月定例教育委員会議事録

1. 日 時：令和6年12月25日（水）13時30分～14時40分

2. 場 所：離島開発総合センター 中央会議室

出席委員：委員 中村 好秀（欠席） 委員 升水 裕司（欠席）  
委員 浦 いせ子 委員 横山 明美  
教育長 中村 慶幸  
事務局 教育次長 牧尾 豊  
教育生涯学習班長 山元 忍  
図書館係長 津田 朋子（欠席）  
文化財係長 平田 賢明  
教育総務係長 坂井 翔

3 附議案件

(1) 前回議事録承認の件

(2) 教育長報告

(3) 報告事項（11/18～12/15まで）

1) 各種委員会、協議会等について

報告第37号 第3回小中高一貫教育合同会議(11/21)

報告第38号 第2回文化的景観保護推進審議会(12/2)

報告第39号 第8回小中高一貫教育地区推進部会代表者会(12/11)

報告第40号 第2回小値賀町文化財調査委員会(12/13)

回

2) その他

① 小学校芋ほり(11/13)

② 少年科学館事業・理科学習支援(小学4年生)(11/14)

③ 熟年大学 小学校1年生との昔遊び(11/18)

④ 小値賀町特別支援教育コーディネーター連絡協議会第2回小値賀地区実務者会(11/19)

⑤ ふるさと留学先進地視察 愛媛、広島(11/20～23)

⑥ 長崎県中学校総合文化祭(11/20)

⑦ 大島分校学習発表会・熟年大学(11/22)

⑧ 文化講演会(11/23)

⑨ ふるさと産業まつり(11/24)

⑩ 全員協議会(11/25)

⑪ 学校運営協議会(11/25)

⑫ ふるさと留学先進地視察 壱岐(11/27～29)

⑬ おちか山学校 すってくろ広場餅つき大会(12/1)

⑭ 旧平戸藩押役所跡(旧延命寺跡)発掘調査開始(12/4～)

⑮ 令和6年小値賀町議会12月会議(12/5～6)

⑯ 小学6年生議会傍聴(12/5)

- ⑰ 小学校授業支援(12/6)
- ⑱ 図書館おはなし会(12/7)
- ⑲ こどもでじまはく(12/8)
- ⑳ ふるさと留学プロジェクト会議(12/10)
- ㉑ 図書館でボードゲームをしよう(12/11～12)
- ㉒ 中学3年生模擬議会(12/13)
- ㉓ 図書館出張おはなし会(12/13)
- ㉔ 小学4年生社会科見学 文化財(12/16)

(4)協議事項

(5)その他

①1月行事予定について

②その他

次回定例教育委員会の日程 1月28日(火)13時30分～

事務局 (教育次長)	<p>それでは定刻となりましたので、ただ今から12月定例教育委員会を始めたいと思います。会議の始まる前に事務局の方から、本日委員さん2名が欠席を、升水委員、中村好秀委員欠席となっております。</p> <p>2名が欠席になっておりますけれども、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第14条第3項にですね、教育長及び在任委員の過半数が出席すれば、会議を開くことができるというように、会議を開き、議決することができますので、本日の会議は成立いたします。それでは、教育長よろしく願いいたします。</p>
教育長	<p>はい。ご出席ありがとうございます。なかなか、あの、ですね、年末ということもありまして、会議、今、次長から説明がありましたけれども、会議の日程、再調整をするのもやっぱり難しいということで、定足数には達しておりますので、会議を開かせていただきます。</p>
<p><b>3 附議案件</b> <b>(1) 前回議事録承認</b></p>	
教育長	<p>早速、始めたいと思いますけれども、まず附議議案件の(1)、前回議事録承認の件です。前回の議事録で、何かございますでしょうか。</p>
教育委員	<p>ありません。</p>
教育長	<p>はい大丈夫ですね。はい、ありがとうございます。</p>
<p><b>(2) 教育長報告</b></p>	
教育長	<p>続きまして(2)の教育長報告ですけれども、この中で何かありますでしょうか。大丈夫でしょうか。</p>
教育委員	<p>大丈夫です。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
<p><b>(3) 報告事項</b> <b>1) 各種委員会、協議会等について</b></p>	
教育長	<p>続きまして(3)の報告事項です。11月18日から12月15日までの分ですけれども、まず1)各種委員会協議会等について、ということで、ご報告をいたしております。まず、報告第37号 第3回小中高一貫教育合同会議、11月21日ですけれども、これについて何かございますでしょうか。</p>
教育委員	<p>ありません。</p>
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして、報告第38号 第2回文化的景観保護推進審議会、12月2日ですけれども、その中で何かありますでしょうか。</p>

浦 委 員	ひとつだけいいでしょうか。
教 育 長	はい、お願いします。
浦 委 員	旧小西邸のところで、いろいろ利用の仕方で意見が出ているようですが、この中で一つ、ふるさと留学の寮って書いてありますね。
教 育 長	はい。
浦 委 員	それは、前向きにそういうふうになっていくんですかね。ふるさと留学の寮として活用したいと。
教 育 長	事務局、お願いします。
事 務 局 (平田係長)	<p>はい。今お尋ねいただきました件ですが、まだあくまでも教育委員会事務局の案ということで、まずは今後、元々の検討委員会というものもありますし、役場の町長部局とも協議が必要になってまいります。今回は、あくまでも事務局の提案レベルということで先生方にご意見を求めました。</p> <p>その結果ですね、1名の委員の先生が少し、もう少し文化的な使用方法がいいんじゃないかっていうような意見はありはしましたが、他の委員さん方自体は、元々そういうふうな、ふるさと留学生寮としてどうかっていうような意見もあった小西邸ですので、概ね反対はなく協議を終えたという状況でございます。</p> <p>今後、この結果を受けて、また教育委員会事務局内で再度、もう一度しっかり話を固めて、教育委員さんや町長部局との協議に入っていくというふうな段階になっていこうかと思えます。</p>
浦 委 員	はい。ありがとうございます。
教 育 長	ほか、ございますでしょうか。
横 山 委 員	はい。
教 育 長	はい。お願いします。
横 山 委 員	そのことについて、質問なんですけども、結局、高校生、男子高校生とかが、ちかまる寮に入れられないわけだから、男子生徒が入学となった場合、しばらくの間は、里親とか、そういう制度を利用するか、それとも地元で祖母がいたり、親戚がいたりすれば、そこに受け入れてもらうとか、そういう方法しかないってということですかね。
事 務 局 (牧尾次長)	<p>はい。事務局です。</p> <p>横山委員おっしゃるとおり、この旧小西邸の整備につきましては、まだ事務局案で、今回会議の方で提案させていただいているもので、旧小西邸が早急に寮になるというものではありません。</p>

	<p>よって、今、問題になっているふるさと留学協議会の男子寮については、別立てで検討する必要があるというふうに事務局は考えております。</p> <p>しま親制度の活用もしくは既存施設をですね、有効利用するかということも踏まえてですね、議論をして、協議をしていかなければならないと考えているところです。</p>
横山委員	分かりました。
教育長	ほか、ございますでしょうか。大丈夫ですかね。
教育委員	はい。
教育長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>続きまして、報告第39号 第8回小中高一貫教育地区推進部会代表者会、12月11日ですけれども、この中で何かありますでしょうか。よろしいですかね。</p>
教育委員	はい。
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>続きまして、報告第40号 第2回小値賀町文化財調査委員会、12月13日ですけれども、この中で何かありますでしょうか。大丈夫でしょうか。</p>
教育委員	はい。
教育長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>しばらく休憩します。</p>
教育長	再開します。
	<b>2) その他</b>
教育長	<p>続きまして、2) その他の報告ですけれども、今回24項目あります。</p> <p>この中で何かありましたらお願いします。</p>
教育長	<p>大丈夫でしょうか。大丈夫ですかね。24もあるので大変ですけど。</p> <p>ないようでしたら、私の方からちょっと委員さんにご意見をいただきたいと思っておりますのがですね、熟年大学ですね。</p> <p>5年度は開催できずに大変申し訳なかったんですけども、今年度は、小学校1年生との昔遊びとかですね、大島分校の学習発表会に合わせて、大島の訪問とか、先日ありました文化講演会の方にもテーマに応じてっていうところもあったんですけども、熟年大学の皆さんに声掛けをして講演会を受講していただいたりとか、以前と比べてですね、熟年大学の受講生のみで何か事業を行うっていうところから、そういった子どもたちとの交流とか、他の団体の主催事業、共済事業への案内とかっていう、そういった建付けに変えてきてるんですけど</p>

	<p>も、このことについて何かご感想とかご意見とかお持ちでしたら、お伺いしたいんですけれども。</p>
浦 委 員	<p>熟年大学っていうのが、登録制か何かになっているんですかね。</p>
事 務 局 (山元班長)	<p>はい。登録制になっています。</p>
浦 委 員	<p>今年度は何名くらい登録されてますか。</p>
事 務 局 (山元班長)	<p>今年度の登録は全部で20名強ですね。</p>
横 山 委 員	<p>質問いいですか。熟年大学の年間の計画っていうのは、されているんでしょうか。何か、受講生からの提案とか、何かこういうことをしてほしいとか、それとか、事務局の方で考えて提供するとか、そういうような形を取っておられるのですか。そもそもが分からないので。</p>
事 務 局 (山元班長)	<p>すいません、お答えいたします。一応今年度の熟年大学につきましては、前年度の方に一応一通りの年間計画がございましたので、それに則って実施をさせていただきました。その中で、今回報告にも挙げさせていただいています、一年生との昔遊び教室っていうのは、学校側の方からですね、今年も開かせてほしいということで、ご依頼の文書をいただきましたので、急遽その事業については、追加したところではございます。ちょっと今年度は、そういった形で前年度を作り込んでおりました事業に基づいて募集をかけさせていただいて、実施させていただいておまして、12月に最後の1回目をする予定だったんですけども、ちょっと塾生の方のちょっとご不幸とか、いろいろございまして、ちょっと、参加者を集ったときに少なくなってしまいまして、12月の開催をちょっといったん見送って、1月に再度最後の会を開こうと思っております。</p> <p>そのときに、皆さんにまた来年度どんなことをしたいですか、どういうことにチャレンジしてみたいですかっていう話をしようと思っております。</p> <p>その中で、来年度の熟年大学のメニューというのを考えていきたいなというふうに思っています。ただ、プラスアルファで、先ほど教育長からございましたとおり、他の事業への参加っていうのもですね、積極的にお声かけしながら、事業を少しずつ活性化させていけたらいいなということで考えております。</p> <p>お答えとしては以上になります。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほど申し上げたとおりですね、令和5年度は多分6回ほどだったと思うんですけど、計画を立てて、住民の皆さんに公表をして、その結果、一度も開催しなかったという申し訳ない結果になっております。</p> <p>先日の12月議会でも、役場の職員の働き方改革の質問がありましたけれども、おそらく、もう事務局も自分たちで分かっていると思うんですけど、年間の行事や会議の計画を立てて、5年度に比べると格段に実行力が高まってはおり</p>

	<p>ますけれども、決して予定どおりに進められている訳ではありません。</p> <p>以前から言っていますように、公表をして、自分たちで一覧化して、それを可視化して、そのことによって自分たちの業務量とか、本来向き合うべき課題の部分とか、そういった時間の確保も必要になります。</p> <p>ただ、単純に無くすっていうことではなくてですね、課題に向き合う形で棚卸を進めていって、しっかり中・長期的な課題にも向き合えるようにするっていう趣旨で進めていっておりますので、その点についてですね、是非ご理解をお願いしたいと思います。ほかにないようでしたら、報告事項のその他を終わってよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局 (牧尾次長)</p>	<p>事務局から1点、資料の追加配布をさせていただきたいと思います。</p> <p>その他の②、24番の後にですね、高校魅力化会議がありまして、そこで報告はされているんですけど、12月19日に高校魅力化推進会議がありました。</p> <p>その席において、高校魅力化推進協議会の委員さんに報告をされた時のペーパー資料になります。内容は、北松西高の高校生がですね、第22回夢アイデア交流会ということで、プレゼンしているんですけども、そこで、最優秀賞を受賞したと、1位を取ったと、いうふうな内容であります。</p> <p>内容につきましては、建築関係のプレゼンになっているんですけども、審査においてはですね、大学の教授や、まあ大人というか、一般の方が参加しているという大会になっておりまして、その中で、小値賀の北松西高校生がですね、見事、最優秀賞を受賞したというふうな内容になっておりますので、ご報告をさせていただきます。なお、町長への訪問を予定して、ちょっと日程調整が、今、高校の先生と合っていないので、年明けにちょっとずれ込むということに、今なっておりますけれども、町長訪問してですね、広く発信をしていきたいというふうに考えております。追加報告は以上になります。</p>
<p>横山委員</p>	<p>そのことについて質問ですけど、どこかで内容とか、発表についての何ていうか、内容とかちょっと開示っていうか、公表することはあるんですか。年度内で。</p>
<p>事務局 (牧尾次長)</p>	<p>はい。事務局です。まず、おちか新聞というふうにちょっと考えていましたけど、1月号には間に合いませんでしたので、年明けすぐのやつには間に合いませんでしたけど、おちか新聞の方で出していきたいのが一つと、もう一つは、北松西高校のホームページがありますけども、そちらの方で発信を、今、現在やっております。状況は以上になります。</p>
<p>教育長</p>	<p>高校側としてはですね、町長訪問をして、その様子を含めて長崎新聞に投げ込みを考えているということがありました。それが一つと、横山委員さんは、多分、例えば、住民の皆さんに集まってもらって、このプレゼンの内容を実際に住民の皆さんに紹介してもらう機会とかも設ける予定はないのかっていう趣旨のお尋ねだったと思うんですけど。これが、おそらくこれをですね、高校2年生ですから、来年の7月の議会での地域探究提案発表をこのテーマだと思うんですよ。ですので、そこは高校側との協議になりますけど、例えば、今、横山委員さんが言われたように、年度内にこの受賞したプレゼン内容を住民の皆さんにご紹介する機会を設けるのか、もしくは、おそらく同じ、ブラッシュアップは多</p>

	<p>分していると思いますけど、内容としては同じテーマでの発表に、来年の7月におそらくなると思いますので、そこでもっと議会、私も再三言ってることですが、議場でするのも結構なんですけど、議会っていう神聖な場で、それを経験するっていうことが、雰囲気も含めてですね、子どもたちの学びにいいというのは分かるんですけど、どうしても、そういう時間設定、時期設定だと、住民の皆さんに広く聞いてもらう機会っていうのが難しいというのがありますので、そこはやっぱり調整していただきたいと思います。</p> <p>今、高校の方でも、高校の魅力化の方向性についてですね、ようやく高校の方でも探究活動を柱に進めていくっていうことと、より地域と繋がっていくっていう方向をですね、今、確認できつつありますので、そういう意味ではですね、是非、広く町民の皆さんにお知らせする機会を作ってもらいたいと思いますので、事務局は尽力をお願いします。</p>
事務局 (牧尾次長)	はい。
教育長	ほかにございますでしょうか。
教育委員	ありません。
教育長	<p>さらに補足ですけど、本人たちと、受賞した本人たちと会う機会があったんですね。それで話をしたら、私、最初はですね、ジュニア部門に応募したのかと思っていたんですよ。全国からですね、55作品ぐらいがあって、最終的にそれが10作品に絞り込まれて、このプレゼンがあっているんですね。</p> <p>その10作品に残ったことだけでもすごいことだと思うんですけど、てっきりジュニア部門での受賞かと思っていたら、ジュニア部門は中学生以下で、高校生以上は一般になると。その一般の応募の中には、先ほどちょっと次長からもありましたけど、大学の教授とか民間企業の経営者あたりとですね、肩を並べてプレゼンをして、結果、最優秀賞を受賞したっていうことですね、本人たちは、高校生としてのアドバンテージがあったんじゃないかなと謙遜していましたが、私はそんなことはないと思うんですよ、やっぱり審査ですので、すごく立派なことだと思いますので、是非広く町民の方に知っていただきたいと思っています。</p> <p>しばらく休憩します。</p> <p>再開します。</p> <p>その他の報告で、ほかにございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p>
教育委員	はい。
教育長	はい、ありがとうございます。
教育長	<b>(4) 協議事項</b>
教育長	続きまして(4)協議事項ですけれども、事務局、協議事項は何かありますか。

事務局 (牧尾次長)	本日は協議事項はありません。
	<b>(5) その他</b>
教育長	はい。協議事項はないということですので、続いてその他のその他ですけども、ここで事務局、何かありますか。
事務局 (牧尾次長)	はい。まず、行事予定の追加のご連絡をさせていただきます。 12月の行事予定なんですけども、12月26日に中学校の吹奏楽部が、アンサンブルコンテストに出発をします。本年最後の部活動になりますので、ご報告をさせていただきます。あわせて、②番の方でもよろしいですかね、本日、令和7年度人事異動・教育行政に関する要望書という資料を添付させていただいております。この要望書について、委員の皆様からご意見をいただければと思っております。よろしく申し上げます。
教育長	事務局、参考に前年度の要望事項の照会をお願いしたいんですけど。
事務局 (牧尾次長)	しばらくお待ちください。
教育長	しばらく休憩します。
教育長	再開します。
事務局 (牧尾次長)	はい、事務局です。令和6年度の人事異動を教育行政に関する要望につきましては、情報項目が人事異動については5項目、教育行政については3項目挙がっております。まず、人事異動については、広域交流人事の継続の実施、基本方針・・・。
教育長	ちょっと待ってください。それって、最終的にまとまった要望のことですよ。小値賀町教育委員会として出した要望ではない。
事務局 (牧尾次長)	これは、県市町村教育委員会連絡協議会が、長崎県教育委員会教育長宛てに最終的には送った内容になります。
教育長	私の言葉足らずだったんですかね。私が説明をお願いしたいのは、前回、うちから連絡協議会に、どういう要望を案として上げたのかっていうのを、再度6年度の状況を説明して欲しかったんですけど。
事務局 (牧尾次長)	失礼しました。再度事務局から説明します。 昨年度は、人事異動については3項目、教育行政については1項目上げています。まず、人事異動については、3年間の異動周期の妥当性について検証してい

<p>教 育 長</p>	<p>ただきたい。3年で替わることを検証していただきたいという1点。</p> <p>2点目が、小中高一貫教育の更なる推進のために、教職員の加配をお願いしたいというのが2点目。3点目は、離島部の人事異動について特段の配慮ということで、離島特有の島暮らしがありますので、本土部とは環境が違うということがありますので、その辺の順応力といいますか、その辺の教職員の配慮をお願いしたいというふうな3点であります。</p> <p>教育行政につきましては、学校教育振興の諸施策ということで、学校環境整備のための補助事業の制度の充実ということを要望しております。</p> <p>内容としましては、補助金の補助率の嵩上げですね、特別な配慮をお願いしたいということで、要望を上げております。以上になります。</p>
<p>事 務 局 (牧尾次長)</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>その結果、県全体で取りまとめた要望事項が、さっき次長が説明しかけたものになるんですね。改めてそっちをお願いします。</p> <p>そういった、当町の方から出された要望を県内まとめて、令和6年度の人事に係る要望につきましては、広域交流人事の継続な実施と基本方針の見直しが1点。2点目が、人事異動における主たる勤務地の取り扱いということで、主たる勤務地とする教職員の少ない町村があるということで、そこについて、人事異動について配慮を実施してほしいということが2点目。</p> <p>3点目が、教頭の働き方の改革になっています。4点目が、栄養教諭の配置について要望をされております。5点目が、代替職員の柔軟な配置ということで、代替職員を配置している学校について、配慮をしていただきたいというふうな、柔軟な対応をお願いしたいというふうな内容なっております。</p> <p>最後6番目に、B、ABのBですね、B地域での勤務の延長についてということで、1年間の限定でなく、せめて3年間延長を認めてほしいというふうな、離島についてはですね、いうふうな内容なっております。</p> <p>一方、教育行政に関する要望は3項目あります。</p> <p>まず一つが、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの増員配置が1点目。2点目が、スクールサポートスタッフです。</p> <p>学校業務の支援員になるんですけど、スクールサポートスタッフの増員配置が2点目。最後3点目は、特別支援教育の充実ということで、教育行政については、以上3点が要望されております。以上になります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>そのことを踏まえて、この事務局提出の資料を見ますと、7年度の要望をもう行ったというふうに書いてあるんですね。</p> <p>1月13日に県教委へ提出したと。県からの回答は、来年1月中旬頃までにお届けできると思いますというふうに結んであるんですけど、これは、その、情報共有っていう話でよかったですかね。</p> <p>次年度へ向けての何か意見をいただきたいとかっていう話なんですかね。</p>
<p>事 務 局 (牧尾次長)</p>	<p>事務局としては、次年度に向けて、今年度要望されておりますけども、次年度に向けて、ご意見をいただければということで、その他の方で上げさせていただ</p>

	きました。
教 育 長	しばらく休憩します。 再開します。
事 務 局 (牧尾次長)	はい、事務局です。令和7年度の人事異動・教育行政の要望につきましては、来年1月中旬に県から回答をいただく予定になっております。 それを受けまして、県からの回答、今回の市町村教育委員会連絡協議会からの県への要望書、それと、小値賀町から連絡協議会に宛てた要望の内容、この3つの資料を添えて、各委員さんの方にご提示をさせていただきたいと思っております。 ご提示の方をさしていただいて、来年5月ぐらいが取りまとめかなと思っておりますので、その折にですね、改めてまたご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
教 育 長	はい、ありがとうございます。このことに関しては、事務局説明のとおりでよろしいでしょうか。
教 育 委 員	はい。
教 育 長	はい、ありがとうございます。 私から1点。山元班長、前回、浦委員さんから少年の主張発表大会に関して、高校が、高校3年生の3人となっていたことに関して質問がありましたけど、その回答をお願いします。
事 務 局 (山元班長)	はい。事務局です。前回、浦委員さんからありました質問につきまして、高校の方に確認をいたしました。回答としましては、高校3年生に絞っているわけではなく、全学年に募集をかけて、結果、選ばれたのが高校3年生の3人であったという回答でございましたので、高校3年生だけを対象としているわけではないということで、ご理解いただければと思います。 次年度以降、2年生とかですね、また出てくるかもしれませんし、今回の2年生が3年生になりますので、また3年生が占めるかもしれませんけれども、そういうことでしたので、ご理解いただければと思います。よろしくお願いいたします。
浦 委 員	はい。
教 育 長	よろしくお願いいたします。ほか、事務局からありますか。
事 務 局 (牧尾次長)	はい。その他の方で1点、ご報告があります。
事 務 局 (山元班長)	情報共有させていただきます。12月6日にですね、金曜日なんですけれども、よりみち塾の方をしておりました。よりみち塾の帰り間際、最後の方になりまして、子どもがですね、飛び跳ねて遊んでいたところ、足を挫いてしまったということで指導員の方に来まして、指導員の方が、その場で、その日は外の活動

だったんですけれども、そのまま保健室の方で対応を保健の先生と一緒にしております。その時に湿布をつけて、貼ってですね、対処しております、そこで、負傷した子どもが歩いて帰る、大丈夫ということだったので、そのまま帰してしまっています。結果、そこが、その対応が間違いだったんですけれども、大丈夫なんだなということで帰ってしまったんですが、その後、やはり痛みが増してきてしまいまして、その後ですね、後で子どもたちの親御さんに連絡もしていなかった面もございまして、子どもが家まで、計40分ほど痛みを抱えながら、堪ええながら、泣きながら帰ってしまったという案件がございました。

結果、その怪我につきましては、翌、土曜日の方に親御さんが病院に行った時に、剥離骨折をしていたという事態に発生をいたしました。

その怪我自体につきましては、親御さんも、その活動中の怪我で、怪我をしたことについてどうこう言うつもりはないってことで、おっしゃってくださっているんですけれども、やはり、怪我をして湿布を貼る事態になっている。しかも、擦り傷ですとか、切り傷ですとか、そういう外傷ではなく、捻ったものについての、その目に見えない部分について、こちらが連絡を入れていない、入れずにそのまま帰してしまっているってところについて、お叱りをいただいております。その中で、帰ってしまったこと、それから、その後に連絡を入れていないことで、ご連絡を、こういうふうに戻ってきたんだけどってご連絡を教育委員会の方に夕方いただきまして、その後、こちらの方の対応としても、直ぐさま謝罪の方に何ええよかったですけれども、そこについても対応しきれておりませんので、結果、皆様の、ご家族、親御さん、おじいちゃん、おばあちゃんも含め、大変なご心配とご心痛を与えてしまったというところで、大変、こちらとして対応がまずく、申し訳なかった部分でございます。

加えて、私の方としましては、私個人としましては、その下の対応していた職員の方から報告を受けたものを次長、教育長、それから学校の方への情報共有につきましても、遅れてしまいまして、その部分につきましても、相手の方に多大なるご心配と不信感を与えてしまったというところで、こちらとして、ものすごくまずい対応をしてしまった案件になってしまいまして、大変、皆様方には、不快な思いとですね、ご迷惑をおかけしてしまった事態になってしまいました。その点につきましては、深くお詫び申し上げます。

申し訳ありませんでした。

教 育 長

私からもお詫び申し上げます。すみませんでした。

事 務 局  
(山元班長)

怪我をした児童につきましては、まだ足に痛みが残ってはいるんですけれども、ギプスを外そうか、外すまいかというような状態まで回復はしております、年末12月20日に受診してるんですけど、まだギプスを外すのは早いかなということで、引き続きギプス対応になっております。

年明けの1月4日にもう一度受診をするということで、そこで、おそらくギプスが外れるのではないかとということで、全治1か月ほどの怪我になってしまったというところで、大変申し訳なかった部分でございます。

こちらとしましては、今回のことを教訓にですね、連絡体制につきまして、ご指導、ご指摘いただいたんですけれども、そういう連絡体制はどうなってるんですかというご指摘をいただいた中で、そういったものを明文化したものを表に

	<p>したもの、こういう紙にしたものを作っておりましたので、そこの方を今作成しております。その中で、学校やこども園や、たのすくというところで、お話を聞きながら作成をさせていておまして、今、まとめながら作成しているところがございます。もう大体でき上がってるんですけど、決裁を取るだけかなというところで、この保護者の方にですね、見ていただいて、何かお気づきの点があればということで、見てはいただいているんですけど、特段のお返事はありませんので、このまま決裁を取ってやっていこうかなというふうに思っています。そのやっていく中で、また不都合が出てくれば、また見直しをしていくという形になろうかと思っておりますので、以後、こういったことがないようにですね、教育委員会、今回、社会教育の中よりみち塾で発生しましたけれども、ほかにも子どもたちの相手をする事業がありますので、教育委員会全体の対応をですね、しっかりとこの教訓を踏まえてやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p>
<p>横山委員</p>	<p>質問。よりみち塾とか山学校っていう、子どもに携わる仕事っていうか、ありますけども、元々、マニュアルとかっていうのはないんですか。</p> <p>幼稚園、保育所だったら、例えば、感染症に関することでは、こういうふうにマニュアル化して、各自、動きとか、そういうのが、今はどうか知らんですけども、あって、作って、共有する。例えば、こんな高いガラスとか、嘔吐とかした場合こうするとか、そういうのがあったんですけども、やっぱり、そういうことを取り扱う場所では、怪我は当たり前、病気は当たり前、感染症でも、そういうのは当たり前のこととして、それを前提として、職員が共有するマニュアルがあると思うんですけど、そういうのは元々なかったんですか。</p>
<p>事務局 (山元班長)</p>	<p>大変申し訳ないんですが、今現在まではありませんでした。</p> <p>口頭のやり取りの中ではですね、こういう時にはこうしようっていうのはあったんですが、そういう話をしていたにしる、それをしっかり明文化したものは、しっかり目に見えるように、誰が見ても分かるようにしたものっていうのは、作成ができおらずにですね、それがありませんので、やはり、その時々担当の判断というのがブレてしまうとかっていうことにも繋がるかなと思っています。</p>
<p>横山委員</p>	<p>1人の判断では、ちょっと難しいですね。</p> <p>まず誰に連絡するとか、誰が動いて、子どもは誰が見て、報告は誰がするとか、そして、誰々が病院に連れて行くとか、その間、連絡は誰がして、保護者に連絡して、誰々が連れていくとかって、そういう、マニュアルとしては、こども園や保育所やらは作ってあったので、学校関係は分からないですけども、多分そういう動きっていうのは、ひとつあるのかな、必要なのかなって。</p> <p>子どもは怪我するもの、何かあるもの、起こすものと捉えて、そしたら、その予防線があったら、確認して動くとかっていうことができると思うので、そういうのは共有化して、マニュアル化して教育する、想定して教育するっていうのは大事だと思います。</p>

